

■目次

■平成28年第4回定例会【12月】

給与、期末・勤勉手当の改正 (町職員・町長等・議員)	2~3
提出議案	4
平成28年度一般会計補正予算	4
議案に対する主な質疑	5
一般質問	6~15
■議会の動き	16
■議会活動報告	17
■委員会活動報告(所管事務調査)	
総務文教常任委員会	18
産業厚生常任委員会	19
■議会だよりギャラリー	20

下郷町 議会だより

平成29年2月

第78号

文化財防火訓練

1月29日(日)、中妻地区「中ノ沢観音堂」において、町の文化財防火訓練が行われました。

町消防団や消防署、文化財関係機関など、貴重な財産である文化財を守るために、真剣に訓練が行われていました。

※写真は婦人消防隊による初期消火訓練



12月9日から16日にかけて12月定例議会が開かれました。

条例の一部改正や平成28年度補正予算など町提出議案の11件、議員提出議案1件は全て可決されました。

また、一般質問では、2日間にわたりて9名の議員が登壇し、町政を質しました。

県人事委員会※1勧告及び県の取り扱いに準じ、町職員の給与改定(福島県内民間給与との較差マイナス0.05%を是正)及び勤勉手当の率改定(年間1.6月⇒年間1.7月)に関する

条例改正、町長等及び議会議員における期末手当の率改定に関する条例改正(年間3.1月⇒年間3.2月)について、全会一致で可決されました。

勤勉手当

期	12月期	
改正後	改正前	改正後
218,849円	211,619円	225,202円
354,538円	327,301円	347,750円
412,070円	380,413円	404,181円



※1 県人事委員会とは

人事委員会は、都道府県及び政令指定都市には必ず置くことと地方自治法及び地方公務員法に規定され、日本の都道府県及び政令指定都市等に設置される行政委員会で、専門的・中立的な立場から人事行政に関する事務を処理する合議制の組織。代表的な業務としては、地方公務員の労働基本権制限の代償措置として官民較差を調査して職員の給与に関する報告・勧告を行うこと、地方公共団体の職員の採用や昇任に関する競争試験や選考を実施することであり、不利益処分を受けた職員からの不服申立て等の審査を行うほか、一般職の地方公務員に対する労働基準監督機関でもある。

◇議会議員における期末手当の改正

役 職	6 月 期		12 月 期	
	改正前	改正後	改正前	改正後
議 長	520,950円	538,315円	555,680円	573,045円
副 議 長	401,925円	415,323円	428,720円	442,118円
議 員	363,975円	376,108円	388,240円	400,373円

◆平成28年6月期の期末手当は、議員の改選により議員5名の在職期間が基準月数を満たしていなかったため上記金額が支給されず、今回の補正予算で減額されています(P 4参照)。

12月定例会

町職員の給与・勤勉手当、町長等及び議会議員の期末手当が改定される

◇町職員における給与及び勤勉手当の改正

職	平均年齢	給与		6月 改正前
		改正前	改正後	
係員	31.5歳	247,669円	248,079円	410円増 205,657円
課長補佐・係長	45.3歳	359,976円	359,976円	改正なし 333,672円
課長	56.9歳	400,200円	400,200円	改正なし 387,818円

- ◆給与改正は、若年層の民間較差是正となっており、課長(課長相当職)、課長補佐、係長における年齢層の改正はありません。
- ◆上記表は、現在のそれぞれに在職する職員を平均して算出したものとなっています。
- ◆上記表の課長には課長相当職(主幹)が含まれます。

◇町長等における期末手当の改正

役職	6月期		12月期	
	改正前	改正後	改正前	改正後
町長 (※)	652,913円 (1,305,825円)	674,676円 (1,349,353円)	696,440円 (1,392,880円)	718,204円 (1,436,408円)
副町長	1,040,175円	1,074,848円	1,109,520円	1,144,193円
教育長	997,050円	1,030,285円	1,063,520円	1,096,755円

- ◆町長は本来()内の額になりますが、給与を半額とすることとしており、期末手当も半額となっていることから、上段の額となっています。

提出された主な議案

【町提出議案】

▼下郷町携帯電話基地局の設置及び管理に関する条例の一部改正

▼職員の給与に関する条例の一部改正

▼議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

▼町長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正

▼下郷町税条例の一部改正

▼下郷町国民健康保険税条例の一部改正

▼28年度特別会計補正予算(第4号)

【議員提出議案】

▼地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について

補 正 予 算

平成28年度一般会計予算
2,831万1千円の減額補正

平成28年度一般会計補正予算(12月補正)

◇歳入の主なもの

町民税(個人)	5,298千円
固定資産税	13,609千円
地方消費税交付金	7,309千円
社会資本整備総合交付金事業国庫補助金	△10,800千円
防災安全交付金事業国庫補助金	△22,610千円
公営住宅建替事業国庫補助金	△9,881千円
過疎対策事業債	△14,200千円

◇歳出の主なもの

特別職期末手当(町長・副町長・教育長)	178千円
議会議員期末手当(P2参照)	△975千円
職員の給料、期末・勤勉手当	2,242千円
道の駅水道管移設業務委託料	3,132千円
道路新設改良工事	△36,190千円
設計委託料(公営住宅)	△6,192千円
消防施設(消火栓)測量設計委託料	4,883千円

◆歳入の社会資本整備総合交付金事業国庫補助金、防災安全交付金事業国庫補助金、過疎対策事業債は、歳出の道路新設改良工事にかかる財源であり、国庫補助金額が町で要望した額より少なかったため減額されたものです。これに伴い歳出の道路新設改良工事も規模を縮小したため減額されています。

議案に対する主な質疑

▼条例の一部改正

答

姫川住宅建替えに伴う測量設計業務にかかる補助金は、当初予算の段階では鉄筋コンクリート造を考慮した設計費用を見込んでいたが、木造になつたこと、さらには国庫補助金が満足に配分されなかつたことが要因である。

◆期末手当（議員・町長等）

議会議員及び町長等の期末手当改正に伴い、特別職報酬等審議会に諮問しなくてもいいのか。

答

特別職報酬等審議会条例では、議会議員は報酬、町長等は給料と定められており、今回は期末手当のため審議会には諮問していない。

▼一般会計補正予算

問

◆基金積立金の総額は

教育施設整備基金利子で8千円、ふるさと応援寄付金で19万円が増額されているが、「教育施設、設備整備基金」及び「ふるさと応援基金」の総積立額はいくらになっているのか。

◆(歳入)土木費国庫補助金

問

公営住宅建替事業国庫補助金が988万1千円の減額となつているが、その原因は何か。

教育施設、設備整備基金が2億335万7350円、ふるさと応援基金は281万1578円となつて

◆(歳出)財産管理費

しもごう保育所に隣接する土地の取得費として753万1千円が増額計上されているが、買収した場合に、買収した土地の工事、さらには防火水槽の移設を行うようになるのか。

また、今回買収するにあたつての買収単価の根拠はどうなつているのか。

答

買収予定地としもごう保育所とはかなりの高低差があり、また、防火水槽だけでなく、電気設備キューピクルもあるため工事は必要になつてくるが、かなりの費用を要することから、今後検討していく。

◆(歳出)文化財保護費

前沢大会運営補助金が当初250万円だったのにに対して150万円の減額となっているが、その原因は何か。

問

全国町並みゼミ大内・前沢大会運営補助金がある程度余裕ができたことから、今回150万円を減額するものである。

◆地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出

意 見 書



全国町並みゼミ分科会(旧大内分校体育館)

▽意見書提出依頼の提出

福島県町村議會議長会

会長 五十嵐

(賛成多数)

▽意見書提出の議決

内閣総理大臣などに意見書を提出することを議決した。

千円の県補助金が得られたこと、さらには大内地区及び湯野上地区の企業及び個人の皆様から協賛金もあり、収入にある程度余裕ができたことから、今回150万円を減額するものである。

一般質問



一般質問は12月14日から15日にかけて2日間で行われ、9名の議員が登壇し町政を質しました。

次のページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします(掲載は一人3問以内としているため、下表●印の質疑応答要約のみとしています)。

	議員氏名	質問要旨	目次
12月14日(水)	星 輝夫 議員	●原発賠償請求について ●下郷町公民館解体について ●地方公務員の再任用制度について ○臨時職員について	P 7
	湯田 純朗 議員	●会津下郷観光循環バスについて ●平成29年度下郷町職員採用試験について ●補助団体の運営について ○職員の勤務体制とサービス残業について	P 8
	小椋 淑孝 議員	●町道湯野上中山線について ●職員の健康管理について ●第5次下郷町振興計画について	P 9
	玉川 邦夫 議員	●将来の下郷町を担う子どもたちへの先進的な教育を ●全会津の玄関口となる「道の駅しもごう」の今後の構想は ●しもごろうで我が町を全国にPRしよう	P 10
	佐藤 盛雄 議員	●湯野上地域整備計画について ●農林業の振興対策について ●会津鉄道下郷駅西側の整備について	P 11
	室井 亜男 議員	●温水プールの設置を ●鳥獣被害対策について	P 12
12月15日(木)	山名田久美子 議員	●着地型ツーリズム推進事業の継続について ●下郷観光循環バス運行について	P 13
	猪股 謙喜 議員	●人口減少対策について ●塔のへつりの漢字表記について	P 14
	湯田 健二 議員	●倉橋大堰について ●ふるさと納税について ●道路整備・白岩水門間のバイパス化について ○農業の振興について	P 15



一般質問とは

一般質問は、町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等について、町長などに所信や疑問をただすことで、報告や説明を求めることがあります。

質問

原子力発電事故に伴う 町有林の賠償請求は

具体的な受付期間や内容が
判明次第、対応する予定

問

東京電力福島第一原子
力発電所事故に伴い、
一筆が広葉樹林または山林で
あれば、立木が賠償請求の対
象になるが、町では町有林の
賠償請求を行ったのか。

答

現在、個人、法人、団
体等の山林について賠
償請求の受付を実施しており、
県内市町村の賠償請求につい
ては個人等の賠償請求後に行
う予定であり、具体的な受付
期間や内容は決まっていない
ことから、判明次第、賠償請
求の対応を行う。

財界ふくしまに掲載された
公民館解体記事の真相は
書類ねつ造の事実もない

質問

財界ふくしま2016
12月号紙面で、下郷町
の旧役場跡地の公民館を解体
した土地に建設した特別養護
老人ホームを巡り、本町で作
成した公文書にねつ造疑惑が
掲載されていたが、その真相
を伺う。

答

関係書類の確認や当時
の関係者から聞き取り
等を行ったが、記事掲載のよ
うな内容はなかった。
公民館の解体は、明知会か
ら旧役場跡地の借用に伴い、
明知会負担で解体する提案が
あり、この提案を承諾し、平
を伺う。

防雪ステーション及び重機
車庫解体工事は、町が発注し、
平成25年9月に施工業者から
竣工届があり、10月10日に町
の竣工検査を行っている。
なお、この工事に係る関係
書類に、ねつ造したという事
実はない。

町政

ここを問う

星 輝夫議員の 一般質問



問 地方公務員の再任用制
度が平成26年4月から
スタートしたが、地方公務員
の年金は段階的に65歳以降の
支給となり、退職後は無収入、
あるのではないか。

質問

答弁

町職員における
再任用制度の活用を
他町村の動向を考慮し
活用を検討する

答

職員の再任用に関する
条例は既に定めている
が、制度の活用は郡内町村と
歩調を合わせながら検討して
きたところである。
今後、職員の能力・実績に
基づく人事管理など、他町村
の動向を考慮しながら、制度
の活用を検討していく。



取り壊される前の町公民館

ここを問う



質問
下郷観光循環バスは
税金の無駄遣いではないか

会津鉄道や野岩鉄道の
将来のこととも考えている

問 紅葉真っ盛りの中、会津鉄道を利用し、塔の

へつり駅で降りる観光客は凄い人数だったが、この観光客は塔のへつりを見学後はまた会津鉄道に乗車し、下郷観光循環バスを利用した人はいませんでした。

町職員（保育士）採用試験の年齢制限の基準は

臨時で働く方への配慮もあり
今後も継続していきたい

問 平成26年度に保育士が2名採用されているが、

問 平成26年度に保育士が2名採用されているが、その採用条件が50歳以下となつてている。仮に50歳で採用しても10年で終わってしまう。キャ

リアがあるのは分かるが、もつと若い人を雇用すべきではなかったのか。

また、今年度の試験では、町長の親族が合格したようだ

答 保育士の年齢基準は前町長時代からの年齢で行つております。今後も継続していきたい。

直接に際しては、仕事への取り組み姿勢、意欲、コミュニケーション能力等について真摯に試験官として対処した

が、面接官となつた副町長は、町長の親族であるという心情は働かなかつたのか。

り入れになるが、これらの方々
が本当に下郷町を一周するた
めに、観光循環バスを利用す

答 野岩鉄道が今年で開通30周年、来年は会津鉄道が開通30周年を迎える。

観光循環バスも利用しながら関東方面からもお客さんに

も来ていただくということが、野岩鉄道や会津鉄道の将来に、どうしては良いのではないかと考えてある。

補助団体（観光協会）の役員就任は違法ではないか

答弁 後で回答したい

問 町観光協会は、町が事務局を担い、町から4千万円もの運営補助を受けて事業を行っているが、町会計とは別に町の財務規則に基づか。また、観光協会の副会長に産業課長が就いているが、これは地方公務員法上の専業義務規定に違反するのではない

問 町観光協会は、町が事務局を担い、町から4千万円もの運営補助を受けて事業を行っているが、町会計とは別に町の財務規則に基づかない会計を持つことになるがいかがなものか。

答 また、観光協会の副会長に
産業課長が就いているが、こ
れは地方公務員法上の專業義
務規定に違反するのではない
か。

町の事務分掌に観光団体に関するが含まれているからとはいえ、観光協会事務と町の事務が同一するものではなく同一するものであるならば観光協会を置かず、町の事業として各種観光事業を実施すべきではないか。

答 設立当初の1、2年以外は町が行ってきており、町がやらなければ、町の観光発展にはつながらないと考えて
いる。

産業課長の町観光協会副本長就任にかかる専業義務規定については、後から答える。

町観光協会は、町が事務局を担い、町から4千万円もの運営補助を受けた事業を行っているが、町会計とは別に町の財務規則に基づかない会計を持つことになる

また、観光協会の副会長に産業課長が就いているが、これは地方公務員法上の専業義務規定に違反するのではない

町の事務分掌に観光団体に関するが含まれているからとはいえ、観光協会事務と町の事務が同一するものではなく同一するものであるならば観光協会を置かず、町の事業として各種観光事業を実施すべきではないか。

答 設立当初の1、2年以外は町が行ってきており、町がやらなければ、町の観光発展にはつながらないと考えて
いる。

産業課長の町観光協会副本長就任にかかる専業義務規定については、後から答える。

質問

改めて町道湯野上中山線の整備計画を伺う

答弁

別の国庫補助路線終了後過疎計画を変更し着手

幅改良については、町道落合

音金線が終わってから町道湯野上中山線に振り向けていく

ことが必要、過疎自立促進計画にも入っているので財源の事情が許すならば改良を進めてもいい。と回答されているが、過疎自立促進計画には、道路構造物の改修となつており改良計画はなかつた。

改めて町道湯野上中山線の整備計画について伺う。



冬期間通行止めの町道湯野上中山線

答

町道湯野上中山線の狭隘区間の改良について

は、現在実施中の国庫補助路線（町道落合音金線）の改修後、過疎自立促進計画の計画変更を視野に入れ、可能な限り早期に事業着手していく。

理由を伺う。

また、今定例会の補正予算に超過勤務手当の増額が多数見受けられるが、これまでに

サービス残業はなかつたのか。超勤務手当について、どのような監査を行い、町に対し

てどのような指摘をしたのか監査委員に伺う。

答

町長

ストレスチェックについては、初めての制度であり、分析する委

するため毎週水曜日のノー残業デーを再度徹底することを指摘した。

託業者との打ち合わせなどに時間を使い1週間遅れた。

答

代表監査委員

残務処理など様々なケースがあるた

ここを問う

町政

小椋淑孝議員の一般質問



問
労働安全衛生法の改正でストレスチェック制度が施行され、50人以上の従業員を雇用する事業所が義務

化となり、今年11月末までに実施しなければならないが、町職員への実施は12月になつてからのようである。遅れた

答弁
代表監査委員
現状改善のため、ノー残業デーの再度徹底を指摘

質問
健康管理上から超過勤務に対するどのような監査を

問

第5次下郷町振興計画における基本構想・基

本計画は配布されたが、実施計画が配布されていない。実施計画は存在するのか。

答
実施計画については、政策を実現するための

質問
事務的な仕様で作成し議員には配布しない

質問

第5次下郷町振興計画の実施計画はあるのか

ストレスチェックについては、初めての制度であり、分析する委

するため毎週水曜日のノー残業デーを再度徹底することを指摘した。

託業者との打ち合わせなどに時間を使い1週間遅れた。

方策として主な施策を掲げており、事業内容や財源内訳などで事業を分類し、振興計画と整合性を図りながら事務的な仕様として作成している。

なお、金額（事業費等）が入っているため議員には配布していない。



ここを問う

玉川邦夫議員の一般質問

質問

学力向上に向けた
先進的施策を
現在の支援事業をさらに
充実・発展させる

答弁

町長は、九月に公表された全国学力検査の結果をどう受け止め、学力向上策を考えているのか。

子どもの教育こそが「町の未来への投資」であり、これから

からの町を担う子供たちの育成に、歴史や漢字検定等への補助や長期休業中の塾との連携による学習会開設で学ぶ意

欲の喚起を図ることや、生のスポーツ観戦、芸術文化鑑賞を通して将来への展望を持たせるなど、こうした「未来への投資」としての施策を町長に伺う。

答

不本意な結果だったが、子どもたちが前向きな向上心を持ち、今後に期待の

答

不本意な結果だったが、子どもたちが前向きな向上心を持ち、今後に期待の

会津の玄関口
「道の駅しもごこう」開発は
サービス低下にならない
施設改善を検討

答弁

R289号バイパスの全線開通に向けて、道の駅の水の問題や駐車場の拡張への取り組み、さらには自然景観にマッチしたエネルギー

問

開発の視点から、太陽光や風力発電の設置を検討してほしいと考えるが、町長の今後の「道の駅構想」を伺う。

下郷町観光PRキャラクター
しもごろー

下郷町観光PRキャラクター
しもごろー

町政

質問

会津の玄関口
「道の駅しもごこう」開発は
サービス低下にならない
施設改善を検討

答弁

R289号バイパスの全線開通に向けて、道の駅の水の問題や駐車場の拡張への取り組み、さらには自然景観にマッチしたエネルギー

下郷町観光PRキャラクター
しもごろー

下郷町観光PRキャラクター
しもごろー

小学校のスクールサポート事業等を実施し、将来の夢・希望に向けた進路実現のため、さらに創意工夫した施策を検討していく。

持てる人材の育成が図られないと感じており、今後も地域ぐるみで育てていく取り組みを推進する。また、今年度は中学生対象に英検全額補助、中3対象の夏期強化合宿授業、

事業等を実施し、将来の夢・希望に向けた進路実現のため、さらに創意工夫した施策を検討していく。

質問
しもごろうグッズで
町を応援しよう

町の情報発信に
しもごろうの積極的活用を

答弁

町の情報発信に
しもごろうの積極的活用を

問

今年は、「ゆるキャラ・しもごろう」の活躍が光ったが、まだ広く町民に認知されていないため、しもごろうの妹をつくり様々な催し

答

しもごろうの妹、Tシャツ購入補助はPRに有効なので検討したい。また、イベントや議会さらに職場の

今年は、「ゆるキャラ・しもごろう」の活躍が光ったが、まだ広く町民に認知されていないため、しもごろうの妹をつくり様々な催し

しもごろうの妹、Tシャツ購入補助はPRに有効なので検討したい。また、イベントや議会さらに職場の

近年、水源の水位低下による水不足が起きており、早急に改善に向けた検討をし、駐車場敷地買収は年度内に完了する。

風力発電等に関しては、景観がセールスポイントの「道の駅」であること、鳥類保護づくりの一歩になると思うが、町長の考

えを聞く。



下郷町観光PRキャラクター
しもごろー

質問

湯野上地域整備基本計画の結果報告を示せ

答弁

年明けに全員協議会で説明し意見等を取り入れる

問

平成27年度の繰越事業で、多目的観光交流施設用地の測量と湯野上地域整備基本計画が進められている

が、未だにその結果報告がされていない。

来年度の当初予算に計上さ

れるのであれば、この事業に

対する議論がなく、議会側の意見を反映できないことなり、議会軽視と思われる。

現在の進捗状況と次年度予算にどのような構想で計上するのか、町長の考えを伺う。

質問

農林業機械の初期導入に一部補助金を

答弁
非認定農家個人への補助金交付は厳しい

問

農林業機械等購入貸付育成制度は、利子補給

だけでなく、農林業機械の初期導入時に一部補助する制度を創設すべきと考えるが、町長の考えを伺う。

答

非認定農家などの個人への農業機械等購入における国庫補助制度がなくなつており、町単独で補助金を交付することは厳しい。

国、県では、認定農家や大

答

進捗状況は、宮城大学と湯野上地域振興協議会と協働で計画づくりを進めている。来年1月には湯野上地域振興協議会に中間報告を行うこととなり、議会に対しても年明けには全員協議会で説明し、意見等を取り入れることにしたい。

規模担い手農家、農業法人、集落営農等の営農団体で購入する農業機械の初期導入補助について継続実施する考えで

あるため、町でも上乗せする形で継続支援を実施したいと考えている。

質問

会津下郷駅の裏を里山として整備を

答弁
組織を作つて意見交換しながら整備していく

問

会津鉄道の会津下郷駅がリニューアルされ町

民や観光客からの評価は良くなると思われるが、駅西側は耕作放棄地が広がり光景としておもわしくない。

裏山を里山として一体的に整備すれば、役場方面から見る借景は一つの観光資源につながる可能性があるため、将来を見据えて政策導入を図るべきと考えるが、町長の所見を伺う。

とは以前から考えていたことで同感である。

所有者の意向調査などに基づき、組織をつくって意見交換の機会を設けて整備していくこととした。



改装された会津下郷駅内の喫茶スペース



ここを問う

室井亞男議員の 一般質問

**高齢者の健康増進のため
温水プールの設置を**

県内外の施設を視察するなど
調査研究していきたい

質問

答弁

町民の健康増進のため、
是非とも温水プールが
必要と考える。

医師は足腰などが痛いなど
と言われる高齢者に対して、
運動をすることの大しさ、中
でも温水プールの中を歩くこ
とを勧めている。

医療機関への受診者も少な
くなれば国保会計からの負担
も軽減され、県内でもトップ
クラスに高い国保税も低減さ
れていく。

ある事故で足を悪くした町
民が、西郷村にある温水プー
ルに通り、プールの中を歩き
続けたらとても良くなつたと
いう話も聞いている。



矢吹町の温水プール

民が、西郷村にある温水プー
ルに通り、プールの中を歩き
続けたらとても良くなつたと
いう話も聞いている。

矢吹町では、約5億280
万円の事業費で、起債等に
より約6割の町負担で整備し
てあるようである。当町では
現在、田代地区にある町民体
育館が耐震基準に満たしてお
らず危ないと言いながらそ
ままにしているが、この耐震
工事と合わせて内部を温水プー
ルに改修してはどうかという
考えもある。そうすれば大学
等の合宿利用や近隣市町村か
らの利用など交流人口増加に
もつながり、何より町民の健
康を考えて、将来的に長い目
で考えて整備してみてはどう
か、町長の考え方を伺う。

質問

町としても実施隊は必
要と感じ、来年度から
実施できるよう猶友会と結成
に関して話し合いを行つてお
り、町内の見回りなど鳥獣被
害防止に努めていくことと考
えている。

その場合の報酬額や予算に
ついては、猶友会の意見や他
市町村の内容を参考にしながら
算定していくないと考
えを伺う。

質問

**鳥獣被害対策実施隊の
設置が必要では**

答弁

来年度から実施できるよう
猶友会と調整中である

質問

問

鳥獣被害防止特措法が
施行されているが、鳥
獣被害が深刻な問題である当
町にとっては非常に重要な法
律である。

この特措法における措置の



集落内に出没したサル

一つに、鳥獣被害対策実施隊
の設置があるが、当町にこの
実施隊はないようであり、是
非必要と考えるが、町長の考
えを伺う。

また、この実施隊を当町に

設置した場合、どの程度の報
酬額、予算規模となるのか。

その場合の報酬額や予算に
ついては、猶友会の意見や他
市町村の内容を参考にしながら
算定していくないと考
えている。

実際には、高齢者の健康保
持増進を推進することは当然
のことであり、既存施設の改
修または新設等について、財
政状況を考慮しつつ、県内外
の施設を視察するなど調査研
究していくこととした。

いう話も聞いている。

矢吹町では、約5億280
万円の事業費で、起債等に

より約6割の町負担で整備し
てあるようである。当町では
現在、田代地区にある町民体
育館が耐震基準に満たしてお
らず危ないと言いながらそ
ままにしているが、この耐震
工事と合わせて内部を温水プー
ルに改修してはどうかという
考え方もある。そうすれば大学
等の合宿利用や近隣市町村か
らの利用など交流人口増加に
もつながり、何より町民の健
康を考えて、将来的に長い目
で考えて整備してみてはどう
か、町長の考え方を伺う。



ここを問う

山名田久美子議員の一般質問

着地型ツーリズム推進
事業は観光PR・誘客
に貢献し大きな成果が出ており、次年度も今年度同様に原子力災害対応雇用促進支援事業に要望していくが、その後についても、町の観光振興を考えれば、補助がなくとも町

問 10月1日から11月20日までの、土、日、祝日の18日間で下郷観光循環バスが運行されたが、町では運行状況や乗車人数は把握しているのか。

実際に乗車したが、運行時刻がとても複雑で利用しにくく、観光客にはモデルプランの提示などをしていく必要性を感じ、また、この循環バスは路線バスとしても利用できることから、住民の方への利

用も促すことが必要と考えた
台湾の旅行客からは「海外
からだと2次交通の必要性は
大事であり、下郷町の観光地
を巡れてとてもよかつた。」
という感想を伺った。

来年度、東武鉄道が乗り入
れを決定している電車「特急
リバティー会津」の運行など
を考えると、今回の運行をき
ちんと精査し進めていくこと
の必要性を感じるが、町の考
えを伺う。

鉄道を利用した観光客の便利性を考えると、会津田島駅から下郷までの循環バスの運行も視野に入れていかなければならない。

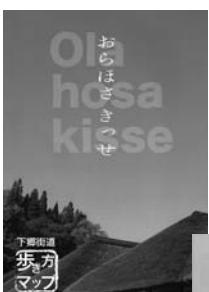
観光客ばかりでなく、地元の路線バスとしても考えられるので、住民や観光客、観光団体に有効利用してもらえるようなモデルコースを考え、周知徹底していくことが必要であり、また、会津バスの考えばかりでなく、協議の場を設ける必要があると考える。

問 着地型ツーリズム推進事業は5年目を迎えており、モニターシャーの実施や100万年ウォーク、地域

ウォーキングイベントへの協力、観光PRや町内施設の利用促進、観光ガイドの充実化、インバウンド向けのパンフレット制作、地域受け入れ基盤整備の強化などを実現していく

一郷観光循環バス運行の
精査の必要性は

単独事業でも対応していくかなければならぬと考へる。また、事務局についても心配しておられ、地域や実行委員会と協議していると考へている。



▶ 体験メニューを紹介する「みっぺ」

質問 着地型ツーリズム推進事業を継続して行くための財源は

答弁
補助がなくても
町単独で対応していく

単独事業でも対応
していかなければ
ならないと考える
また、事務局につ

観光地等を
介する
がらほさきっせ |

乗車人数は10月1日から11月20日までの約18日間で延べ163人の利用があつた。

ここを問う

猪股謙喜議員の
一般質問

質問

町はどのように
人口減少対策を図るのか

答弁 移住支援や空家活用等を
新規事業として検討

答

公営住宅の改修整備の現状と、今後の人口対策は。また、国の人口減少特別対策事業で下郷町はどうに人口減少対策を図るのか。



建替え予定の姫川住宅

問

若者等の定住促進や移住支援のためには、公営住宅の整備は必要不可欠。塩生地区の定住促進住宅建設では、かさ上げが必要であり、国道工事による10万m³を超える残土の利用を南会津建設事務所と協議している。

姫川住宅は、町内で最も古い住宅であり、その底地は当初から借地であった。今回の建替え事業で用地の取得を検討したが、相続未了地と住宅整備時の造成工事による土地の形状変更で所有者間の境界確定が困難となっている。ゆ

えに借地での整備とした。人口減少対策は、移住支援や空家活用等を新規事業として検討し、既存の事業についても評価、見直しを図りながら進めたい。

國の人口減少特別対策事業は、成果を上げた自治体に手厚く配分する方針としている。短期的に人口減少が改善されるものではないと認識しているが、積極的に取り組みたい。

質問

塔のへつりを漢字表記し
観光資源として活用を

答弁 パンフレット等で
できる限り使用し周知する

答

塔の弟は、昭和18年に國の天然記念物に指定された。文化庁にも名称は漢字表記で登録されている。

弟の漢字表記は、文化財として本町のみで使用され、全国に誇れる文化と認識している。

日本工業規格にはない漢字で、一般的なパソコンでは表記ができない状況となっている。

観光パンフレット等での表記は、できる限り漢字とふりがなの両方の使用で、今後周知をしていきたい。



弟が漢字表記された道路標識



ここを問う

湯田健二議員の 一般質問

質問

倉橋堰の取水口における 采水支付

来年度の対策は

答弁 県に河川改修計画策定の 要望をしていく

問 倉橋の大堰が危機に瀕している。

は夏の渇水により取水の確保に苦慮した。

長野橋上流の取り入れ口から
の取水が出来ず、特に今年

この取水口は十数年前の台風で被害を受け、様々な問題

質問
ふるさと納税の
今後の取り組みは

知名度アップや、寄附金の増額などを図っていきたいたい

問

年々自主財源が減少する中、ふるさと納税を

るが、どのような発想で進めているのか。また今後の取り組みはどうなっているのか。

答 単なる税収のための制度として捉えるのではなく、町の魅力を対外に向けて

アピールできるよう活かし、経済が循環することなどを目指すためのツールとして活用を考えている。

今後は、返礼品などのあり方、ふるさと納税ボーナブルサイトへの参画も検討し、より一層の知名度アップ、経済の循環、寄付金の増額を図つていきた。

からそのままの状態になつてゐることも要因の一つとなつてゐる。

協議会では、改修に向けての協議を実施し、安定取水を目指している。

具体的な改修計画 時期は
明言できないが、倉村・柄原区
民の生活用水・防火用水の機

白岩 水門間の
バイパス化への働きかけを

答弁
今後も県等に継続的に
早期事業実施の要望を行う

問 県道高隣田島線の白岩
水門間は、大型車輛

津縦貫南道路の開通により、止めになつてゐる。今後、会早期事業実施の要望をしていく考え方である。

塔のへつり等への交通量増加
が予想され、町道弥五島白岩
線の一部を利用したバイパス
化が求められるが、町長の考
えを伺う。

答　南会津建設事務所が、
本年度に阿久戸平々塔
のへつり区間の県道バイパス
化を視野に入れた測量設計を
実施し、町道の未改良区間が



町道弥五島白岩線 阿久百坂

議会の動き

3月定例会の会期について

次期3月定例会での当初予算の審査は、予算特別委員会を設置して全議員で審査することから、その審査日程等を踏まえた会期について、議会運営委員会及び全員協議会で協議し決定しました。

1 日 目	2 日 目	3 日 目	4 日 目	5 日 目	6 日 目	7 日 目	8 日 目	9 日 目
開会 (提案理由の説明)	休会 (議案思考)	休会 (議案思考)	一般質問 (1日目)	一般質問 (2日目) ※1	予算特別委員会 (1日目)	予算特別委員会 (2日目)	予算特別委員会 (3日目) ※2	議案審議

◆上記表には、土曜・日曜・祝日は含まれていません(土曜、日曜、祝日は休会)

※1 一般質問2日目は、質問者数が多い場合とし、少ない場合は休会(議案思考)

※2 予算特別委員会3日目は委員会審査予備日とし、2日目で終了の場合は休会(議案思考)

議会改革について

議会基本条例※3の制定に向けた議会改革の提案が議員からあったため、全員協議会での協議が行われました。

議会基本条例の制定については、現行の会議規則や条例、その他諸規程の改正を含む大改革となり、特別委員会を設置しての相当な期間の慎重審議が必要となることから、3月定例会時の全員協議会で特別委員会の設置に向けた協議を行うこととなりました。



※3 議会基本条例とは

従来の首長らが条例案などを説明し、議員は質問するだけという地方議会のあり方を見直し、活発な議論を促すのが目的。地方分権の進展に伴い、議会の責任が大きくなった現実を見据えた条例で、「議会は自治体事務の立案、決定、執行、評価における論点、争点を広く市民に明らかにする責務を有している」と規定し、議員間の自由討議や執行部側の反問権などを認め、町長に対しては、政策等の発生源、検討した他の政策案等の内容、他の自治体の類似する政策との比較検討、実施にかかる財源措置、将来にわたるコスト計算などを具体的に提示することを義務付けている。

この議会基本条例は、会津管内でも約半数の町村が制定している。

議会活動報告

10月31日(月)
郡山市
ピックパレット
ふくしま

福島県町村議会議員研修会

県内の町村議会議員が一堂に会する研修会で、読売新聞及び産経新聞社からそれぞれ講師を招き、全国自治体の地方創生にかかる活動事例や、日本の政局等について講演が行われました。

地方創生とは、「山を守り、農地を守り、海をきれいに維持し、国土の歴史と伝統を守り、それを誇りにして地方で生活する人たちを心から尊敬して応援する都市住民を増やしていくこと。」と捉え、そのためにも「都市にとつての農村」、「農村にとつての都市」を考え、連携していかなければならぬとしている。

○『住み心地よい地域』のための対人公共サービス（子育て・教育・福祉・住宅）の充実

○経済成長が全てではない
○自治体消滅に惑わされない
○環境と文化を大切にした住民参加の町づくりをする

そして、大きな課題である
人口減少社会に必要な二つの

地方創生とは、「山を守り、農地を守り、海をきれいに維持し、国土の歴史と伝統を守り、それを誇りにして地方で生活する人たちを心から尊敬して応援する都市住民を増やしていくこと。」と捉え、そのためにも「都市にとつての農村」、「農村にとつての都市」を考え、連携していかなければならぬとしている。

○『住み心地よい地域』のための対人公共サービス（子育て・教育・福祉・住宅）の充実

○経済成長が全てではない
○自治体消滅に惑わされない
○環境と文化を大切にした住民参加の町づくりをする

そして、大きな課題である
人口減少社会に必要な二つの

◇地方議会の 課題と活性化策

—地方創生と
地方議会の役割—

読売新聞東京本社編集局
企画委員 青山 彰久氏

政策を提示された。

①人口が減っても豊かに暮らす地域の仕組みを考える

②都市と連携して交流人口を増やし、若い世代を大切にする



◇これからどうなる 政局・政治

—安倍政権の
展望と行方—

産経新聞社

石橋 文登氏

世界の情勢と安倍政権の動向についてユーモアを交えたながら、分かりやすく話された。

世界の情勢と安倍政権の動向についてユーモアを交えたながら、分かりやすく話された。

全国町村議会広報研修会

全国の町村議会議員を対象とした議会広報研修会が開催され、広報常任委員4名が出席しました。研修会では、3名の講師による講演が行われました。

◇分かりやすく、 伝わる広報誌の表記

赤羽 博之氏

伝わる文章とは、スッと読め、意味や内容が相手にしつかり届くこと、文が長くなれば相手に「結論」を伝えるタイミングが遅くなり分かれにくい、伝わりにくい文章になるため、一文は短くすることなど、今後、町民の皆様に関心を持っていただけの議会広報編集に取り入れるべきアドバイスが多くありました。

◇読みまれて伝わる
議会広報誌

月刊総務編集長

豊田 健一氏

◇第30回広報コンクール
紙面クリーンク
—最優秀受賞紙から
学ぶ企画編集—

芳野 政明氏



樺原小学校プールサイド改修工事や 大内宿保存修理事業など、所管の事務を調査

総務文教常任委員会では、10月21日、樺原小学校プールサイド改修工事や下郷中学校普通教室LED化工事、大内宿保存修理事業、下郷町地域振興対策事業として行われた樺原公会堂施設整備事業など、所管する事務の調査を行いました。

◇下郷中学校普通教室LED
教育環境向上のため、普通教室のLED化事業の説明
を行う。



樺原小学校プールサイド改修工事

◇樺原行政区事業
ふるさと公園遊具整備事業
ふるさと公園遊具整備事業
パークゴルフ場は、全18ホール計画中、9ホール分の整備は平成26年度に完了しており、残り9ホールの整備事業について説明を受ける。



携帯電話エリア整備事業

◇下郷中学校普通教室LED
教育環境向上のため、普通教室のLED化事業の説明
を行う。
また、滑り台に水溜りが
あつたようなので、管理を
徹底すること。

◇樺原小学校プールサイド改修工事
老朽化した樺原小学校のプールサイドに防滑性ビニールシートの敷設、水路部及び足洗場のアクリルウレタン樹脂系塗装による改修事業の説明を受ける。

- プールサイド 34.6m²
- 水路部 58.2m²
- 足洗場等 42.2m²

◇下郷町地域振興対策事業
(樺原行政区事業)
平成27年度に実施された樺原行政区公会堂新築工事の説明を受ける。

- 木造平屋建て 1棟
- 延べ床面積 149.47m²
- 建築面積 163.91m²

◇大内宿保存修理事業
(福島県事業)
遊具の老朽化に伴い、これらの撤去とプレイポートワンダー1基設置状況についての説明を受ける。

- 茅屋根葺替 2件
- 茅屋根修理 2件
- 消火栓ホース交換 1件

◇携帯電話エリア整備事業
(福島県事業)
「小沼崎バイパス」整備事業
(幾世橋橋梁補修工事)
遊具の老朽化に伴い、これら1基設置状況についての説明を受ける。

- 枝払いをしないと通学児童への危険性や電話線などの支障があるので、早急に対応すべきである。
- 樺原小学校周辺等の樹木の枝払いをしないと通学児童への危険性や電話線などの支障があるので、早急に対応すべきである。
- パークゴルフ場の維持管理費が多額になることが予想される。今後の大変な課題であり、検討をする。
- ふるさと公園遊具整備事業で埋戻し材として遊具周辺に山砂を敷いているが、小石が混ざり危険と思われる所以再度整備を図ること。

意見・提言等

◇小水力発電事業
三峰川電力番屋川発電所

番屋川(音金行政区農業用水)の流水を利用し、番屋川水発電所施設の説明を受ける。

遊具の老朽化に伴い、これら1基設置状況についての説明を受ける。

遊具の老朽化に伴い、これら1基設置状況についての説明を受ける。

その他の調査箇所

◇防災安全交付金事業
(幾世橋橋梁補修工事)

◇会津縦貫南道路

「小沼崎バイパス」整備事業
(福島県事業)

倉村・樅原地区ほ場整備事業、町商工会 への委託事業など所管の事務を調査

産業厚生常任委員会では11月9日、倉村・樅原地区ほ場整備事業、町商工会へ委託した着地型ツーリズム推進事業・消費者風評被害対策市町村支援事業、パークゴルフ場整備事業など、所管する事務の調査を行いました。

- ◇ 着地型ツーリズム推進事業
- (商工会委託事業)
- 原子力災害による観光産業の影響や農産物販売停滞などの風評被害に対し、専門的な職員を雇用し、魅力的な観光



経営体育成基盤整備事業

- 夏休み中におけるファミリー参加型
- 収穫
- 米の安全性を一目で見ることができる全袋検査、
- 冬の食材(雪下野菜)を対象としたツアー

- ◇ 会津下郷駅改修工事
- (会津鉄道事業)
- ◇ 湯野上保育所運営事業等
- ◇ パークゴルフ場整備
- ◇ 小水力発電事業

その他の調査箇所

- 商工会に委託したモニターツアー事業等は、東武トツ旅行業者の利用と在京下郷会への参加協力を求めてはどうか。

- 区画整理 59.6 ha
- 道路幅 2 m ↓ 4 m (5 m)
- 道路延長 13 km
- 用排水路 15 km
- 実施年度 H20 ~ 29年度

倉村・樅原地区のほ場整備等の事業について、県南会津農林事務所職員より説明を受ける。

- 雇用人数 2名
- 体験冊子を活用した旅行商品づくり
- 百万年ウォーカー
- 食の安全モニターツアー
- 体験冊子(英語版)の作成

◇ 経営体育成基盤整備事業 (福島県事業)

情報発信やイメージアップ、消費者と生産者の交流を深めるとためのモニターツアーの開催などについて、町商工会職員より説明を受ける。



町商工会委託事業

三峰川電力番屋川発電所 ◇ 畜産競争力強化対策整備事業

◇ 史跡(中峠観音堂)整備工事

- 倉村・樅原地区のほ場整備は進んだが、農業機械・施設は個人への補助がなく、特に高齢化で担い手がないことから検討をしてほしい。

意見・提言等

- ◇ 営農飲食用水施設整備事業 水道施設未整備地区解消を目的とし、施設整備にあたり基礎となる水源の水量及び水質調査について説明を受ける。

- 芦ノ原地区
- 新開地区
- 三ツ井地区
- 沼尾地区

- 湯野上温泉駅は観光協会運営となっているが、一本化した方がよいのではないのか。

- 商工会に委託したモニターツアー事業等は、東武トツ旅行業者の利用と在京下郷会への参加協力を求めてはどうか。

議会だよりギャラリー

議会とまちのうごきを
写真でレポート

なかやま雪月火2017 2月18日(土)

下郷町では冬の風物詩にもなっている『なかやま雪月火』の取り組みを紹介します。

12年前、中山地区の存在感を示そう、何か大きなことをやってみようと始めた『なかやま雪月火』が、今では日本夜景遺産に認定され、冬を代表するイベントになっています。

中山地区も高齢者が大半を占めており、県や町職員の方々、そして近隣住民の方々に支

えられて何とか継続できているとのことです。

ここ数年、「所期の目的は達成したし、費用も労力も大変だからやめようか」との話が頻繁に出ますが、いつか町や湯野上温泉などが、この雪月火を利用して地域の活性化に結び付けてくれるのではないか、そうすれば自分たちも町に貢献できたことになるのではないかと期待しているそうです。



婦人は、会津地鶏汁などの地場産品料理を提供するほか、自らのアイデア商品を売り出すために料理研究を重ねています。

独自に考案した作業方法で、2000本以上のペットボトルの切断、ろうそくの仕付けが約1週間程度で仕上げられます。



議会を傍聴しませんか

次回の町議会定例会は3月になります。
お問い合わせは町議会事務局(69-1123)まで

議会広報常任委員会

委員長 猪股 謙喜

副委員長 山名田久美子

委 員 玉川 邦夫

委 員 小椋 淑孝

(小椋 淑孝)

今年も暖冬かと思つたが、
アッと間に一面雪景色
となつた。自分も議会議員となつた
と間に1年間が過ぎ
うつります。
まだまだ覚えなければなら
ないことが山積みで、新
たな年を迎えたとはい
日々勉強の毎日です。
もうと沢山の経験を積み
上げ、町民の皆様のために
活動できる1年としてい
たいと思つます。

今年も暖冬かと思つたが、
アッと間に一面雪景色
となつた。自分も議会議員となつた
と間に1年間が過ぎ
うつります。
まだまだ覚えなければなら
ないことが山積みで、新
たな年を迎えたとはい
日々勉強の毎日です。
もうと沢山の経験を積み
上げ、町民の皆様のために
活動できる1年としてい
たいと思つます。

編
集
後
記